

たんぽぽ子ども食堂通信

奈良・西ノ京「たんぽぽの家」が運営する子ども食堂のお知らせです。

2021年3月
第2号

発行
たんぽぽ子ども食堂



たんぽぽ子ども食堂が目指すもの

か れ い ま き
家 令 牧 (たんぽぽ子ども食堂 代表)

「子ども食堂の活動はどうしても理解できへんな。私たちの時代は親がご飯を食べなくても、子どもに食べさせていた時代。そんなに食事できないくらい困っている家庭があるの？ 昼も夜も働かなくては行けないのかな？ 他人にご飯を食べさせてもらうなんて考えられへん」と、正直な気持ちを話してくださった人がいます。そう思っている方は他にもおられるかもしれません。

私はこう考えています。社会の宝物である子どもは

家庭の中だけで育てようとせず、もっと他人を頼っていい。できる限り地域社会の中で皆で見守りながら育ててほしい。辛くてしんどいときは「助けてほしい」と言えるような社会になるべきだと。

たんぽぽ子ども食堂は、誰の目も気にすることなくSOSを出せるような場所です。「しんどいから助けてほしい」と思ったときに誰でも利用できる、また小学生が一人でも気軽にご飯を食べることができる「地域の子ども食堂」をこれからも目指します。



空家、空スペース 大募集！

たんぽぽの家での会食形式の子ども食堂は、現在開催できていません。たんぽぽの家にはコロナの感染リスクが高く、また感染した場合、重症化する可能性のある方が暮らしているからです。

子どもたちがいつでも集える場所はありませんか？

たんぽぽ子ども食堂
家令（かれい）まで
電話：0742-40-1040

もっと知りたい！

たんぽぽQ&A

Q

利用条件を
教えてください

A 小学生～高校生の子どもです

さまざまな学年の子どもたちが集まって、賑やかに過ごしています。



Q

親子で参加
したいのですが

A

原則は
子どものみです

親子での参加を希望する場合は、個別に相談してください。

Q

利用は継続
しなければ
いけませんか？

A

単発利用も歓迎です

ぜひ気軽にお問い合わせください。

Q

コロナ禍
での対応は？

A

お弁当を配達
しています

毎週金曜日に配達しています。時間は16時30分から17時30分頃。料金は子ども1食200円になります。



Q

家庭事情が
周りに知られ
ないか心配です

A

徹底して
守秘します

家庭の事情などの個人情報、徹底して守秘します。安心して利用してください。

Q

アレルギー
には対応して
いますか？

A

基本的には
していません

ただし、その場で臨機応変に対応しています。



かたづけ

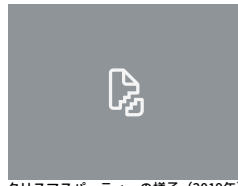
作・ばばちゃん



みーちゃんの前ではお兄ちゃん

お弁当紹介コーナー

現在は毎週金曜日、ご希望の家庭にお弁当や食材を届けています。
クリスマスなどイベントの際は、張り切って特別メニューを作っています。



クリスマスパーティーの様子 (2019年)

コロナ禍が収束し、早くみんなでこんなふうに集まれますように。



豪華なお弁当に目が釘付け！大好きなメニューを見つけて喜んでいました。

おいしいよ～！



食材のご寄付ありがとうございます。



毎週金曜日、お弁当準備の様子



コロナ禍で会えないクリスマスが楽しい日になるようお弁当を届けに行きました！



クリスマスメニュー

- ・唐揚げ
- ・ミートローフ
- ・うずら卵のフライ
- ・ポテトサラダ
- ・春雨のサラダ
- ・卵焼き
- ・チキンライス
- ・ミニトマト
- ・ブロッコリー
- ・ブラウニー

ふわふわ唐揚げの作り方

子どもたちに大人気のメニュー！



■材料 (2人分)

鶏むね肉…300g
A (塩…小さじ 1/4 水…大さじ3
あれば重曹…ふたつまみ)
しょうが、にんにく…各小さじ1
醤油…大さじ1
小麦粉、片栗粉…各大さじ2
揚げ油…適量

■作り方

1. 鶏むね肉を一口大に切り、Aを揉み込んで20分ほど馴染ませる。
2. しょうが、にんにく、醤油を揉み込む。
3. 2に小麦粉、片栗粉を混ぜ合わせ、180℃の油でこんがり揚げる。

ボランティアスタッフ紹介

ご寄付のお願い

たんぼぼ子ども食堂では、お米・お菓子・缶詰・乾物・野菜 などのご寄付を大募集しています。

賞味期限まで1カ月以上あるものでお願いします。

たんぼぼ子ども食堂家令 (かれい) まで
奈良市六条西3-25-4
電話：0742-40-1040



牧野 大輝
(大学2年生)
こんにちは！
マキさんです。

西の京高校在学中から「たんぼぼの家」でボランティアをしていました。その中で子ども食堂を知り、お手伝いをさせてもらっています。みんな元気で明るく、僕自身も元気を分けてもら

っています。ボランティアというより僕自身が遊びに行っているような感覚です。子どもたちの居心地が良い場所であると同時にボランティアにとっても居心地が良い場所です。

ここでのつながりや出会いは自分の活動や進路にも大きく役立っています。また一緒に遊べる日を楽しみに待っています。



羽生 順子
(主婦)

すでにボランティアをしていたママ友に誘われ、子連れで参加しています。正直なところ、それまで子ども食堂については聞いたことがある程度の認識でした。実際に来てみると、ボランティア

の学生や年上の子が当時1歳だった娘に優しく接してくれたので、人見知りだった娘が積極的に遊びの輪に加わりうとうするようになりました。私自身も母子で閉じた世界にこもりがちでしたが、ボランティアの皆さんの志の高さと、愛情を持って子どもたちに接する姿に大いに刺激を受けています。